最初の青春と最後の青春。 うらっち、鈍くさいなぁ うん、幼な





【名画座2本立て】5/3(金)~5/9(木) 併映 『カラオケ行こ!』 キネカ大森 03-3762-6000 https://ttcg.jp/cineka\_omori/





芦田愛菜 宮本信子

高橋恭平 古川琴音 汐谷友希 伊東妙子 菊池和澄 大岡周太朗 生田智子 光石 研

原作:義谷香央理「メタモルフォーゼの練倒」(KADOKAWA) 脚本:同田恵和 監督:狩山俊輔 音楽:丁字路s 主題歌:うららと雪「これさえあれば」 劇中漫画:じゃのめ 戴谷香央理

**Ь.17** ≅



metamor-movie.jp @metamor\_movie









## introduction

「このマンガがすごい!」「文化庁メディア芸術祭 マンガ部門」など数々の漫画賞を受賞した傑作漫画が実写化。17歳のさえない女子高生・佐山うららを演じるのは芦田愛菜。ドラマ「Mother」で脚光をあび、俳優として数々の最年少記録を塗り替えながら、活躍を続ける国民的俳優。夫に先立たれ孤独に暮らす75歳の老婦人・市野井雪を演じるのは日本を代表する名優・宮本信子。『お葬式』や『マルサの女』で国内外の映画賞を多数受賞。以降、映画、ドラマと精力的に活動を続けている。二人の共演は『阪急電車片道15分の奇跡』以来、10年ぶり。脚本を手掛けたのは、連続テレビ小説「ひよっこ」(NHK)、『8年越しの花嫁 奇跡の実話』など名作ドラマ・映画を数多く手掛けてきた名脚本家・岡田惠和。それぞれ別のさみしさを抱えたうららと雪の友情と変化を丁寧に落とし込んだ脚本を「妖怪人間ベム」(NTV)、「奇跡の人」(NHK)、『青くて痛くて脆い』などの狩山俊輔監督が紡ぎ出す。年齢も立場も肩書きも全く違うけれど、一緒に笑って、一緒に泣いて、時には激論を交わし、好きなものを好きと語り合える喜び。年の差58歳の友情。そして、BLでつながったふたりの人生は、意外な方向に転がりだしていく…。







## story

4)

を

1)

は

女

高

生

佐山うらら、17歳。

みんなみたいにキラキラできない女子高生。 唯一の楽しみは、毎日こっそりBL漫画を読むこと。

もうひとりの主人公・市野井雪、75歳。 夫に先立たれ、これといった趣味もなく、人生の終わりがちらつく今日この頃。

ある日、ふたりは同じ本屋にいた。 うららはレジでバイト。その目の前に出された一冊のBL漫画。 顔を上げるうららの前にいたのは雪だった。 堂々とBLを買っていく老婦人に驚くうらら。

雪はBLの意味さえ知らず、表紙のきれいな絵に惹かれ思わず手に取っただけ。

初めての世界に驚きつつも、男子たちの恋物語にすっかり魅了され、老いた身体にときめきがよみがえる。 続きが読みたい。

雪はファンになったBL作家・コメダ優の新刊を求め、再び本屋へ向かう・・・。

こうして出会ったうららと雪。

√ 好きなものを好きと語り合える「友達」ができた。

あくなきBL愛を語り合う日々の中、雪が言った。 「うららさんは自分で漫画描きたいと思わないの?」 「才能ないんで」とうらら。

「才能ないと漫画描いちゃダメなの? 人って思ってもみないふうになるものだからね」

そして、ふたりはある挑戦を決意する。

それは創作漫画の即売会イベント「コミティア」への出展。 つまり自分で自分の漫画を描いて、作って、売ること。

年の差58歳、うららと雪の挑戦がはじまった。 そしてそれは、あるメタモルフォーゼ(=変身)をもたらしていくことになる—。







